

I 【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。（配点 40）

- (1) $a > 0$ とする。 $z = \frac{(a+i)^3}{i}$ が実数となるような a の値は であり、
 このとき、 z の値は である。ただし、 $i^2 = -1$ とする。
- (2) $\log_{10} 2 = p$ とおくとき、 $\log_{10} 5$ を p の式で表すと であり、
 $\log_{10} 1.25$ を p の式で表すと である。
- (3) $k > 0$ とする。3次方程式 $x^3 + 2x^2 - kx - 2k = 0$ が2重解をもつとき、
 $k =$ であり、その2重解は $x =$ である。
- (4) 箱の中に2から11までの数字が1つずつ書かれた10枚のカードが入っている。
 この中から2枚のカードを同時に取り出し、書かれた数字を確認する。
 これら2つの数がともに素数である確率は であり、
 2つの数のうち1つだけが素数である確率は である。

Ⅱ 【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。(配点 30)

- (1) 初項 $a_1 = 60$ である等差数列 $\{a_n\}$ が $\sum_{k=1}^{16} a_k = 0$ を満たすとき，

$a_{16} =$ であり，公差は である。

よって，一般項は $a_n =$ である。

- (2) $OA = AB = 3$ ， $OB = 2$ である $\triangle OAB$ を考える。

このとき， $\cos \angle AOB =$ であり， $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} =$ である。

また，辺 AB を $t:1-t$ に内分する点を M ，辺 OA を $2:1$ に内分する点を N とする。

\overrightarrow{OM} と \overrightarrow{BN} が垂直であるとき， $t =$ である。ただし， $0 < t < 1$ とする。

Ⅲ 【数学①のみ解答】(配点 40)

(1) 媒介変数表示された曲線 $C : x = t - \sin t, y = 1 - \cos t$ ($0 \leq t \leq \pi$) について、次の問いに答えよ。

(i) $0 < t < \pi$ のとき、 $\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt}$ をそれぞれ t を用いて表せ。

(ii) $0 < t < \pi$ において、 $\frac{dy}{dx} = 1$ となるような t の値を求めよ。

(iii) 曲線 C の長さ L を求めよ。

(2) n を自然数とすると、次の問いに答えよ。

(i) $y = x^3 e^{-nx}$ について、 $\frac{dy}{dx}$ を求めよ。

(ii) 関数 $f(x) = x^3 e^{-nx}$ ($1 \leq x \leq 5$) が最大値をとるときの x の値を求めよ。

IV 【数学①のみ解答】

xy 平面上に 3 点 $A(1, 0)$, $P(p, 0)$, $Q(p, \log p)$ がある。ただし, $p > 1$ とする。

このとき, 次の問いに答えよ。(配点 40)

- (1) 直線 AQ の方程式を求めよ。
- (2) 関数 $y = \log x$ の第 2 次導関数 y'' を求め, 曲線 $y = \log x$ が上に凸であることを示せ。
- (3) 曲線 $y = \log x$ と直線 AQ で囲まれた図形の面積 $S(p)$ を求めよ。
- (4) $\triangle APQ$ の面積を $T(p)$ とするとき, 極限值 $\lim_{p \rightarrow \infty} \frac{S(p)}{T(p)}$ を求めよ。

V 【数学②のみ解答】

次の空所を埋めよ。(配点 40)

- (1) 座標平面上の点 $(5, -2)$ に関して,

点 $A(3, 8)$ と対称な点 B の座標は $(\boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}})$ である。

また, 点 P が放物線 $y = x^2 + 2x - 3$ 上を動くとき,

点 $(\frac{1}{2}, \frac{1}{2})$ に関して, 点 P と対称な点 Q の軌跡は, 放物線 $y = \boxed{\text{ウ}}$ である。

2つの放物線 $y = x^2 + 2x - 3$ と $y = \boxed{\text{ウ}}$ で囲まれた図形の面積は $\boxed{\text{エ}}$ である。

- (2) 2つの集合

$A = \{n \mid n \text{ は } 50 \text{ 以下の自然数のうち, } 4 \text{ で割り切れる数}\},$

$B = \{n \mid n \text{ は } 50 \text{ 以下の自然数のうち, } 6 \text{ で割り切れる数}\}$

について, 集合 $A \cap B$ の要素は $\boxed{\text{オ}}$ 個あり, 集合 $A \cup B$ の要素は $\boxed{\text{カ}}$ 個ある。

- (3) 自然数 n, a, b に対して, 次の2つの命題を考える。

命題 p : n が 4 の倍数であることは, n が a の倍数であるための
必要条件であるが, 十分条件でない。

命題 q : n が 4 の倍数であることは, n が b の倍数であるための
必要条件でも十分条件でもない。

このとき, 命題 p が真であるような自然数 a のうち最小のものは, $a = \boxed{\text{キ}}$ であり,

命題 q が真であるような自然数 b のうち, 1 以上 10 以下の数は $\boxed{\text{ク}}$ 個ある。

VI 【数学②のみ解答】

$f(x) = -3x^3 + 36x$ とし、 $g(x) = 3x^3 + 3x^2 - 8x$ とする。

また、 $h(x) = g(x-p) + q$ とおくとき、次の問いに答えよ。

ただし、 p, q は定数とする。（配点 40）

- (1) 関数 $f(x)$ を微分せよ。
- (2) 関数 $f(x)$ の増減を調べ、極値を求めよ。
- (3) $g(x) - h(x) = Ax^2 + Bx + C$ が x についての恒等式となるとき、定数 A, B, C を、それぞれ p と q の式で表せ。
- (4) すべての正の数 p に対して、2次方程式 $g(x) = h(x)$ が実数解をもたないような q の値の範囲を求めよ。必要ならば、(2)の結果を用いてもよい。